

## 実証実験サポート事業課題調書

所属名又は部局名 くらしき情報発信課

テーマ名	広報紙の編集事務効率化及び電子化推進（不達対策）
背景	編集事務の効率化とともに、スマートフォンの急速な普及に伴い、市民1人1人に情報を届ける手段としての広報紙電子版の充実が求められているため。
解決したい課題	<p><b>1 広報紙編集業務の効率化</b> 本市は、市民向けの広報紙を毎月発行しているが、単純な編集ルールでなく、過去の掲載記事の体裁や報道用ハンドブックの書きぶりを参考とした経験則的なルール（以下広報ルール）に基づき編集を行っている。また、校正作業は、原稿を紙に印刷して確認・修正作業を行った後、データを修正するなど、効率が良くない。</p> <p><b>2 広報紙電子版のアクセシビリティ向上及びスマホ対応</b> 広報紙は市ホームページにPDF・電子ブック版のみで掲載しており、ウェブアクセシビリティが確保されていない。また、スマホでの閲覧にデータが最適化されておらず、閲覧性が低い。</p> <p><b>3 担当課原稿の SNS への転用</b> 担当課原稿を SNS で情報発信する場合、広報紙編集後に再度原稿を理解して編集作業を行うため、二度手間となっている。</p>
目標 (求める解決策)	<p><b>1 広報紙編集業務の効率化</b></p> <p>① 担当課からの原稿を過去の掲載記事の体裁や書きぶりに倣って編集 ②本市の使用する編集ソフト（Adobe InDesign 等）への自動割り付け</p> <p><b>2 広報紙電子版のアクセシビリティ向上及びスマホ対応</b></p> <p>① 1－①で編集のデータによる広報紙電子版（HTML 版）の作成 ② 2－①のデータを利用した、スマホに最適化したサイトの作成</p> <p><b>3 担当課原稿の SNS への転用</b></p> <p>① 1－①の編集のタイミングで SNS ルールに基づく編集を行う ※SNS で情報発信する場合、広報紙校正に合わせて校正</p> <p>これらの課題について、生成 AI 等を用いて、業務効率化を図りながら実現を希望する。</p>
想定する 実証実験の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の広報紙の情報を AI に学習させ、記事を作成する</li> <li>・AI が作成した記事を既存の編集フォーマットへ自動で割り付けるため</li> </ul>

	の仕組みの検証 ・記事の作成と連動したアクセシビリティの高い情報発信サイトの試作
<b>実証実験を行う企業に求める専門性</b>	・ AI 学習技術 ・ ウェブ構築の知識・技術 ・ 情報発信に関する知見
<b>提供可能なサポート</b>	・ 広報紙データの提供 ・ 広報ルールに基づいた実験結果の検証
<b>実証実験の打ち合せ方法</b>	<input type="checkbox"/> 対面 <input type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> 対面及びオンライン
<b>実証実験終了後の本格導入</b>	課題の解決につながる提案であれば、正式導入に向けた予算要求を準備したい。

【参考】 担当課原稿からの情報発信までの流れ（イメージ）

